

神戸大学ニュースネット NEWS NET

©神戸大学ニュースネット委員会 http://www.std.kobe-u.ac.jp/newsnet/
関西学生報道連絡共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-21-9-502
電話 06-6307-1315 FAX 06-6307-1316 メール newsnet@std.kobe-u.ac.jp

月を、くぐろう。
From A
毎週火曜日発売 定価200円(税込)

2月号

今月の主な内容

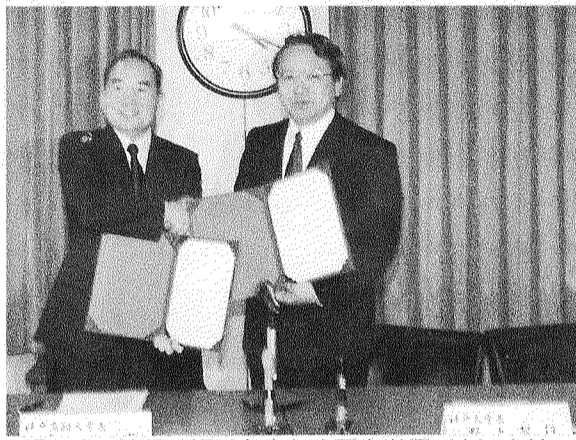
- 1面:2001年度10大ニュース
- 5面:建物特集
- 8面:震災、7回目の1・17

2001年度 神戸大 10大ニュース

神戸大学ニュースネット委員会が選ぶ昨年の10大ニュース。「神船大との統合」「兵庫県下での単位互換」など、神戸大に変化の波が押しよせていることを象徴するニュースが多かった。

1位 神船大と統合へ

03年10月めどに



調印式、笑顔で握手を交わす野上野学長(右)と神戸大・原潔学長(左)(7月25日・提供写真)

神戸大(野上野行学長)と神戸商船大(原潔学長)は7月25日、03年10月を目途に統合することで合意し、両学長が神戸大で合意書に調印した。新大学の名称は「神戸大学」になる見通し。近畿の国立大間では初の統合で、4例目の統合合意となる。

統合の検討は、神戸大では00年12月の評議会で満場一致で了承、神戸商船大でも教授会で賛成多数で了承され、開始された。以来3回の協議会が行われ、今回の統合決定に至った。合意書によると、「両大が有する世界的な大学間ネットワークを統合化する

ことで、個性豊かな総合大学としてさらに発展させる」ことが主な狙い。調印の後に行われた記者発表では、野上野学長は「一層国際化を図り、国際的視野を持った人間を育成するため、海に開かれた総合大学としてより発展することを目指したい」と述べた。新大学の学生受け入れは04年4月が目標。両大では6つの分科会を設置し、両大の委員で検討を進めている。

4位 兵庫県下36大学で単位互換構想

兵庫県の4年制大学、全36校を対象とした単位互換について検討を開始していることが、4月29日までに分かった。

今回の兵庫県の単位互換は、文部科学省が他大学の単位認定限度数を60単位に増やしたことから発生した。3月16日に行われた36大学の学長と兵庫県知事の懇話会で、今回の単位互換について29大学が好意的な反応を示した。県と大学の関係を第三者的な位置で連絡している「ひょうご大学連携事業推進機構」は、過半数の大学が参加してくれると話した。また神戸大の野上野行学長は「(単位互換は)学生によりすぐれた教育を与えられる一つの方法。積極的にやっていきたい」と話した。

情報交流始まる 会員制HP開設

神戸大と学生会同窓会が共同運営する会員制ホームページ「kobe-u.com」が2月10日(土)に開設された。

係者全てを対象に、電子掲示板やメールリスト、プロバイダサービスなどを取り扱っていく予定。

ほぼ全員の無事確認 米テロ事件受け

米国で9月11日に発生した同時多発テロ事件を受け、神戸大でも在米留学生・教職員の安全を調査した。うち、日本人留学生36人中34人の無事を確認した。うち、日本人留学生については全員の無事が確認されている。

2位 未受検者には制裁も 定期健康診断で

00年7月に発生した結核集団感染を受け、一学生健康診断規定が3月に改正。保健管理センターが行う健康診断を受検していない学生には工学部など5つの学部で、単位認定を行わないなどの「制裁」を加えることとなった。

実際に、単位認定を行わない学部は、工学部、農学部、医学部医学科。一部の実習を受けられないとしたのは、理学部、医学部保健学科。法学部では健康診断書提出まで単位認定を保留にした。

この影響で、年次以上生を対象にした定期健康診断の受検率は、昨年の35パーセントから84.2パーセントに増加。特に単位を与えないなど強い制裁を公表していた理・工・農・医・法学部では95パーセント以上の高い受検率になった。

この措置について馬場久光・保健管理センター所長は「結核感染が発生した場合、実習などで学外に感染を及ぼしてしまつたら対処が困難になる。各学生が健康診断の必要性・重要性を認識してほしい」と話した。

6位 文芸書に影響 取次・鈴木書店の倒産で

人文系専門書の取次・鈴木書店が12月に倒産し、取引のあった神戸大生協でも影響が出ている。

生協では人文系専門書全てを鈴木書店から仕入れていた。現在は大手・日販との取引に切り替えている。しかし、影響が出たのは専門書ではなく、鈴木書店から入荷していた文芸書の一部。日販では売り上げ実績で押し先が決定されるため、実績の低い生協では新刊の入荷が減少。入手が困難となった。書籍部学館店の武田守店長は「新刊が発売日に入荷できなかったのが、「一番痛い」と頭を悩ませている。

から入荷していた文芸書の一部。日販では売り上げ実績で押し先が決定されるため、実績の低い生協では新刊の入荷が減少。入手が困難となった。書籍部学館店の武田守店長は「新刊が発売日に入荷できなかったのが、「一番痛い」と頭を悩ませている。

米テロ事件受け ほぼ全員の無事確認

米国で9月11日に発生した同時多発テロ事件を受け、神戸大でも在米留学生・教職員の安全を調査した。うち、日本人留学生36人中34人の無事を確認した。うち、日本人留学生については全員の無事が確認されている。

3位 惜しくも準優勝 全日本ラクロス

男子ラクロスの全日本選手権決勝が12月16日、東海大学陸上競技場で手権決勝が12月16日、東海大学陸上競技場で

全日本ラクロス選手権決勝が12月16日、東海大学陸上競技場で手権決勝が12月16日、東海大学陸上競技場で

全日本ラクロス選手権決勝が12月16日、東海大学陸上競技場で手権決勝が12月16日、東海大学陸上競技場で

全日本ラクロス選手権決勝が12月16日、東海大学陸上競技場で手権決勝が12月16日、東海大学陸上競技場で

5位 野球部秋季は2位

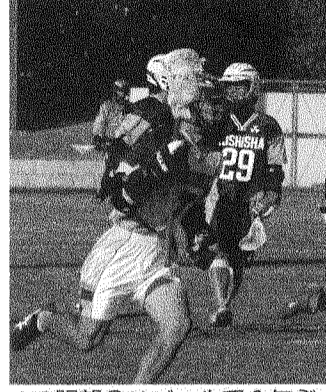
近畿学生野球秋季リーグで優勝争いを演じたが惜しく神戸大が健闘。最終戦も2位に終わった。

近畿学生野球秋季リーグで優勝争いを演じたが惜しく神戸大が健闘。最終戦も2位に終わった。

2強の一角崩す

神戸大と優勝争いを演じたのは奈産大。神戸大は先に9勝7敗1分勝ち点4で全試合を終え、望みを最終戦の奈産大へ託した。1勝1敗で迎えた第3戦で、阪南大が勝利すれば、優勝が神戸大に決まる。阪南大を上回る優勝となったが、奈産大が9回に決勝点を挙げ、2-1で勝利。春秋連覇を果たした。

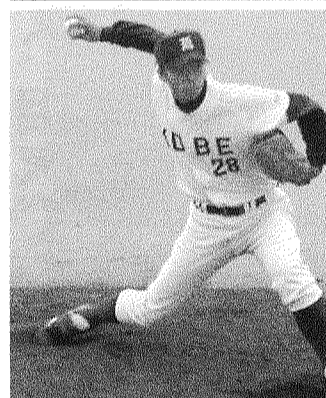
神戸大の高田監督は優勝を逃したことに「奈産大に負けたから」と話した。自分達で主体的に練習してきたことが結果につながったこと、今季を振り返った。



MF服部のVゴールで6年ぶり決勝へ(12月9日・鶴見緑地競技場で 撮影=茶谷亮)

MF服部のVゴールで6年ぶり決勝へ(12月9日・鶴見緑地競技場で 撮影=茶谷亮)

MF服部のVゴールで6年ぶり決勝へ(12月9日・鶴見緑地競技場で 撮影=茶谷亮)



01年秋季リーグで素晴らしい活躍を見せたエース塚本(10月5日・南港中央野球場で 撮影=茶谷亮)

01年秋季リーグで素晴らしい活躍を見せたエース塚本(10月5日・南港中央野球場で 撮影=茶谷亮)

大所帯で生活改善 国文キャンパスで

国文キャンパスでは、9月11日から、キャンパス内での分煙を実施した。また、学生部も8月からA棟に移転し、学内最多人数の同キャンパスで、体制の整備が進んでいる。

伏流水 ポンペイ展を見に行った。ポンペイはローマ期に栄えた豊かな都市であったが、突然の火山の噴火により、人々が逃げる間もなく火山灰の下に沈んだ。発掘品からはある日突然、生の営みが断たれた様子が伝わってきた。自然の脅威の前に人はいつの世も無力だ。先月、阪神・淡路大震災から7年目を迎えた。わたしは当時、故郷の福井にいたが、それでもその激烈な揺れに飛び起きた。その年の3月に神戸を訪れたが、家々の屋根にはブルーシートが掛けられ、三宮駅前のビルは4階部分が潰れていたのを覚えている。7年後、街はずすかり整備されていた。しかし、いらい更地にビルが立ち並んでも、埋められないものも確かにある。V字の形で福井といえ、54年前、福井地震というものがあつたのを、存じだろつか。死者約3700人という大惨事で、現在の震度の基準や建築基準法はこれによって作られた。しかし、恥ずかしながらわたは、つい最近のことを知った。地元でも50年も経ては記憶は風化する。伝える努力もされなくなる。そうして人は無防備になり、天災は忘れられた頃に再びやってくる。人類のDNAにはほんのなかに書き込まれているのかもしれない。【平田博美】

報道しませう。 NEWS NET

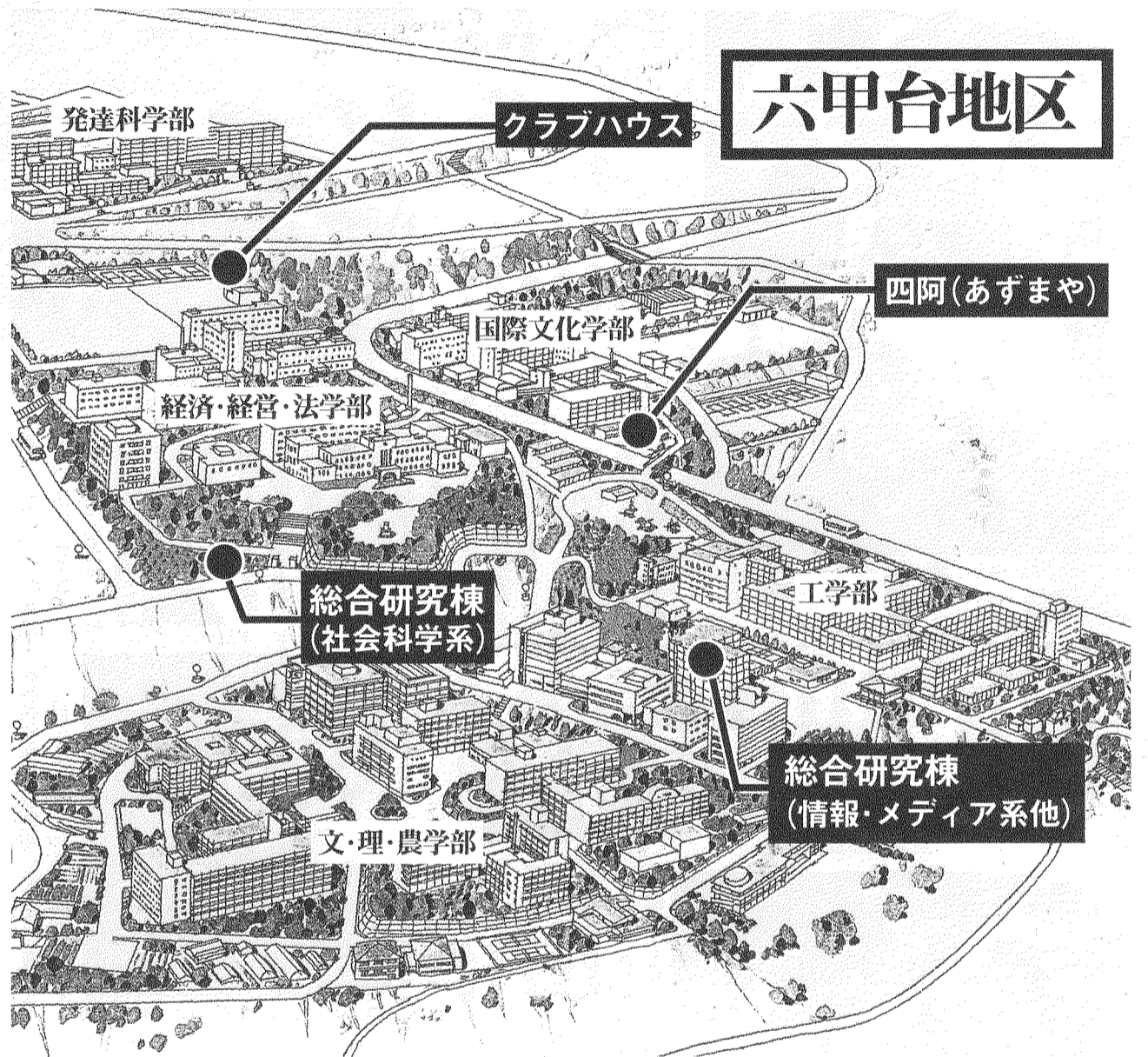
神戸大の3建物特集

3つの拠点

最近、キャンパスの中で工事の風景をよく目にしないだろうか。「一体、何を建ててるんだろう?」と思っているかもしれない。

ここではこれから神戸大の仲間入りをする予定の建物たちを、3つのカテゴリーで集めてみた。もうすぐ使えるようになるもの、まだまだ完成は遠いもの、それぞれが大学を支えるものだ。

六甲台地区



医療の拠点



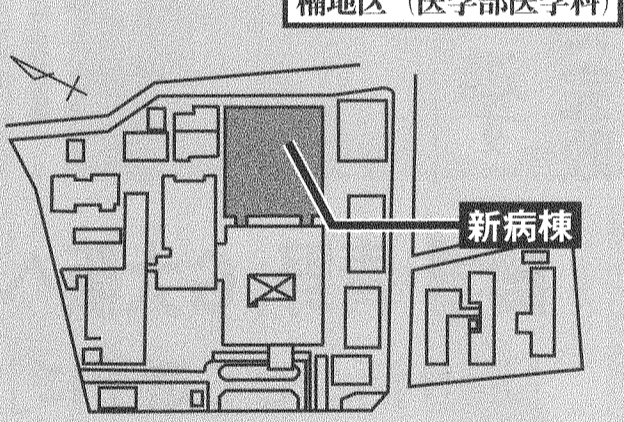
震災の悲劇。その経験が生かされた新病棟。新しい医療を目指す。

医学部付属病院の新病棟(II写真)が3月に開院する予定。

震災の被害に見舞われた同病院。新病棟では免震構造を採用したり、屋上にヘリポートを設置するなど災害に対応できる医療体制を整えている。

また、医療スペースの増加で、臨床教育にも力を入れるという。中村肇・同病院長は「学生には勉強として、さまざまな人間として患者に接してほしい」と話。

楠地区(医学部医学科)



知の拠点

学びの都・大学。日夜研究が続けられ、知の最先端をリードし続ける。しかし、優れた研究を行なうにはそれなりの環境が整っていることが望ましい。これから神戸大の仲間入りをする2つの総合研究棟は、更なる知の探求に貢献していくはずだ。



◎総合研究棟(社会系)

正門の西側、以前は学生集会所があった区画に建設中の総合研究棟(社会科学系)(下図。施設提供)。竣工は12月だが、現在は更地の状態に近い。

地上7階、地下1階建て。研究棟、生協食堂などの福利施設、放送大学学習センターが入所する。

移転予定の六甲台食堂は(現在の食堂は)形態自体に問題があるとして、カフェテリア形式を採用する予定。抜本的な改善を行うという。利用度が高まっても対応できるように。雰囲気の良い店を目指したい」と話している。

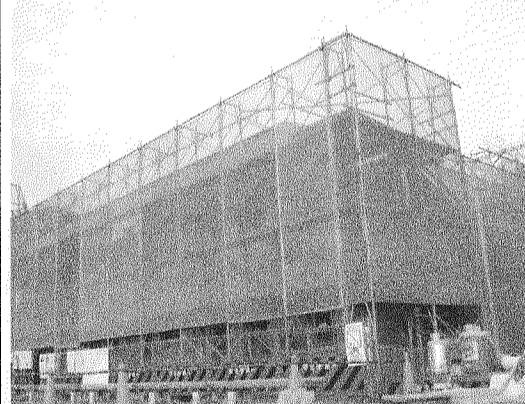
◎総合研究棟(情報メディア系他)

総合研究棟(情報メディア系他)(上図。施設提供)は、工学部学舎向いに建設中の建物。地上8階、地下1階建てで、1期建物はすでに竣工、2期建物は今年6月に竣工予定。

「情報メディア系の重研プロジェクト推進施設」としているが、研究室が1か所にまとまるなど異分野の研究者のコミュニケーション空間も形成。研究棟に移転予定の自然科学研究科の向井正教授は「いくつかのグループが一緒になって、新しい実験も始めたい」と意気込む。



生活の拠点



◎クラブハウス

六甲台グラウンド東側に建設中の課外活動第2共用施設(II写真)が2月末に竣工。正門横にあった集会所の撤去が建設のきっかけ。

第1共用施設から体育会系クラブが移転し、空き部屋に連うクラブが入所するなどが行なわれる予定。

集会所から第1施設に移った児童文学研究会の安永幸史さん(文・1年)は「キ

◎四阿(あずまや)

快適な空間は快適な生活を演出する。快適な学生生活は、活動のエネルギーを生み出す。

レイで使いやすい」と話している。

学生課・厚生課の国文への移転に伴い、A棟自習室がなくなる。そこで学生部は、学生の「たまり場」を確保するため、食堂前にウッドデッキを敷き詰め、3つの四阿を建てる。4月までに完成する予定。

学生課は「学生がフリーに使える空間を創る」と話す。